

人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育

教育いちかわ



「教育いちかわ」

2月7日号

市川市教育委員会

中央図書館 市内高校生による POP や美術作品の展示

POP(Point of Purchase の略)とは、商店などで販売促進を図る目的で、商品の魅力を書いて、目立つように添えるものです。本の場合は、手にとり興味を持って読んでもらえるように、内容などを自分の言葉で短く紹介します。また、目を引くように、紙の形や絵など工夫をこらします。

書店等で、文学賞を受賞した作品や読み継がれている古典的な作品の POP を目にして、手にとった経験があるのではないのでしょうか。図書館では、新たな本との出会いを創出するために行っている「本の福袋」の紹介文が POP の一つと言えます。

また、学校では、子どもの読書への関心や意欲を高める取組として、児童生徒が読んで面白かった本や感動した本を、他人に薦めるために POP づくりを実施している場合があります。中央図書館では、学校との連携の一環として、そのような市内の中学校、高校から、本の紹介 POP を借りて展示し、広くご紹介する取組を毎年実施してきました。

いま中央図書館では、千葉県立の市川南高等学校 29 点、市川東高等学校 14 点の POP を 3 月 30 日まで展示しています。高校生の POP は、図書委員の方や、勉強の合間に時間を惜しんで読んでいる読書好きの方によるものが多く、広く知られた一般の作家による作品紹介も多くなります。

今まで学校から借用した POP は、中高生が利用するヤングアダルト・ルームやヤングアダルト・コーナーで、同じ年代に対して紹介していましたが、昨年の秋(千葉県立国府台高校 36 点)から、フロアの目抜き通りである吹き抜け下に目立つように展示して、一般の方にも広く目にしてもらうようにしました。その結果、多くの方が若い感性の言葉による紹介文で興味を持ち、本を手にとり借りていく姿がうかがえます。



また、市川市の高校生による美術作品 28 点を「わたしたちの春夏秋冬」と題して、中央図書館一般フロアの絵画ラック・コーナーで、3 月 30 日まで展示しています。

これは、昨年 12 月に、市川市教育委員会の後援で市内の画廊で開催されていた展示を、先方のご厚意により、場所を中央図書館に移し、広く来館者に見てもらうために、会期を延長して展示しています。



この機会に中央図書館に足を運び、本の POP 紹介文や美術作品から、高校生の溢れるフレッシュな感覚にぜひ触れてみてください。

【中央図書館】